

玉露童女追悼集

五 江苏工业学院图书馆
藏书章

玉露童女追悼集 五

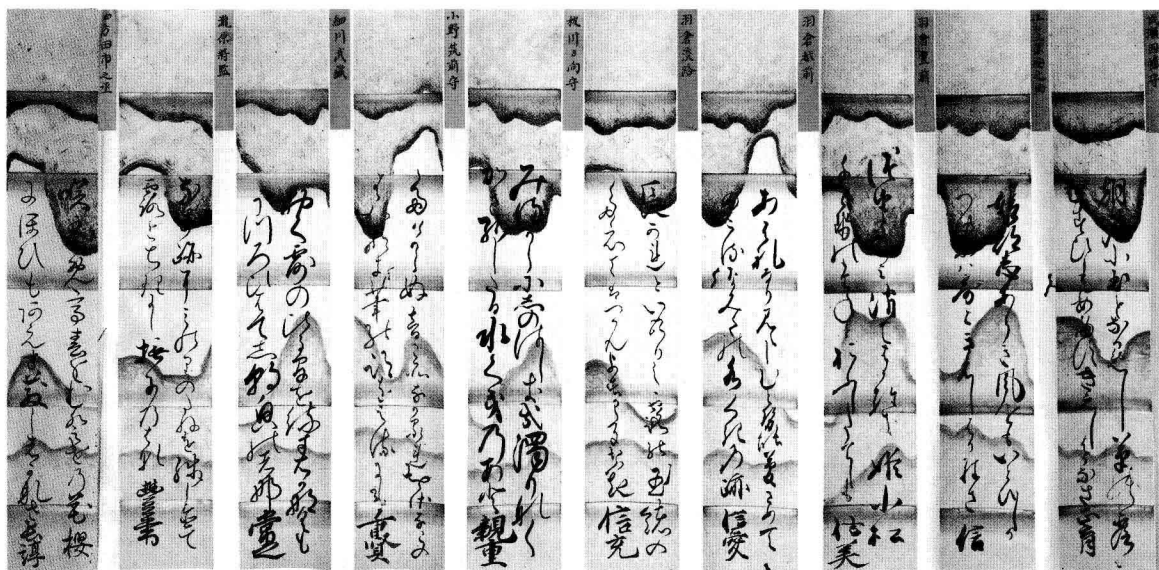
平成八年三月十八日 発行

編 著 玉露童女追悼集刊行会
発 行 浅草寺教化部

〒一一一

東京都台東区浅草二―三―一
電 話 〇三(三八四二)〇一八一
振 替 東 京 六・三三一〇
FAX 〇三(三八四五)六九三三

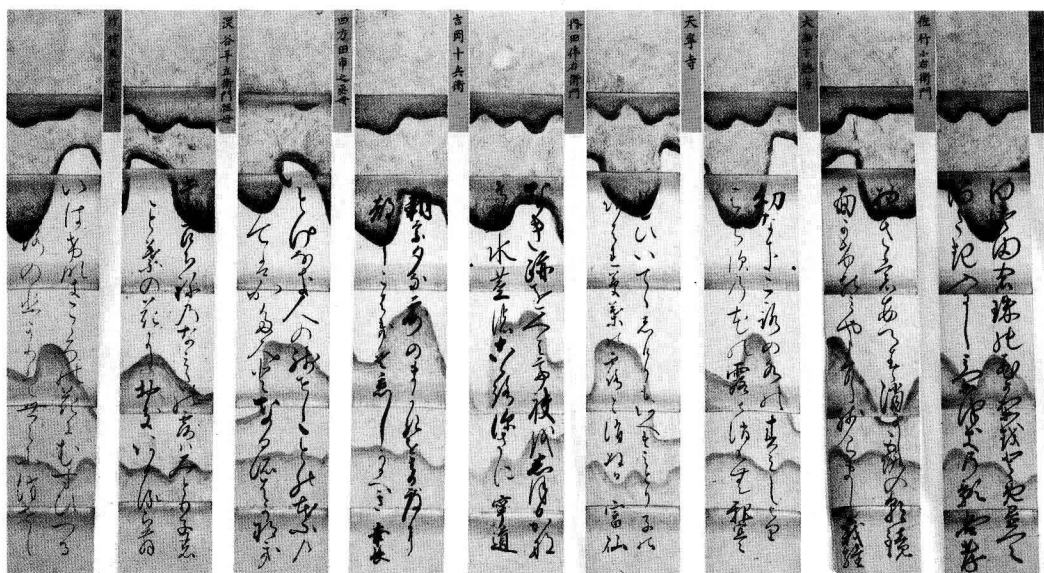
印 刷 株式会社 大塚巧藝社



右より

成瀬因幡守（正育）書（第25巻）13頁
小笠原安之助（信）書（第25巻）13頁
羽倉豊前（信美）書（第25巻）13頁
羽倉越前（信愛）書（第25巻）13頁
羽倉淡路（信充）書（第25巻）13頁

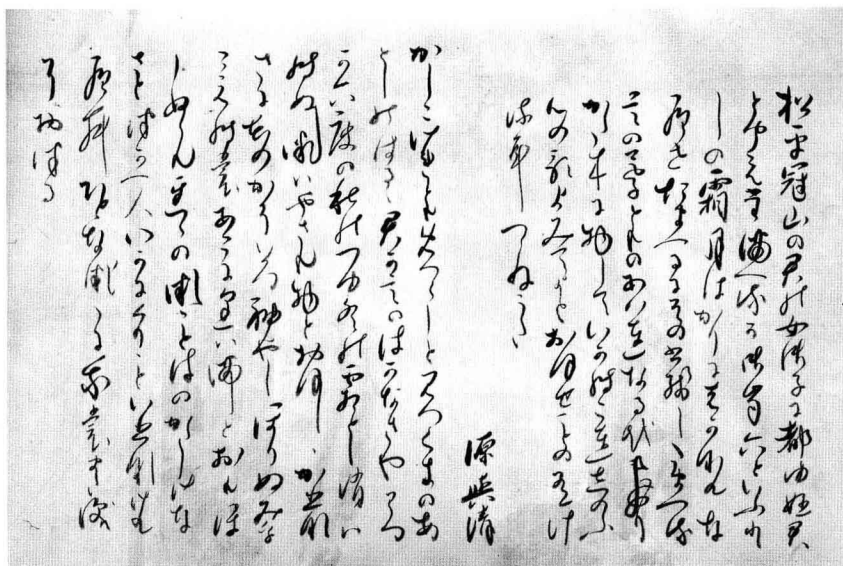
萩川日向守（親重）書（第25巻）14頁
小野筑前守（重賢）書（第25巻）14頁
細川武蔵（常之）書（第25巻）14頁
滝原将監（豊常）書（第25巻）14頁
四方田市之丞（長諄）書（第25巻）14頁



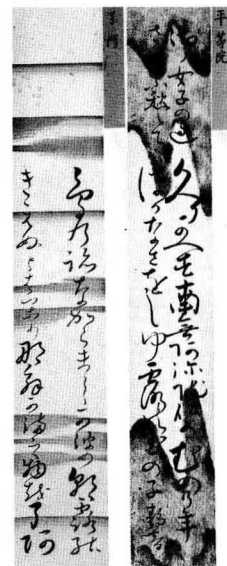
右より

竹村与兵衛（尚孝）書（第25巻）14頁
佐竹小右衛門（義維）書（第25巻）14頁
大西下総守（親寔）書（第25巻）14頁
天寧寺（富仙）書（第25巻）15頁
内田伴右衛門（寧道）書（第25巻）15頁

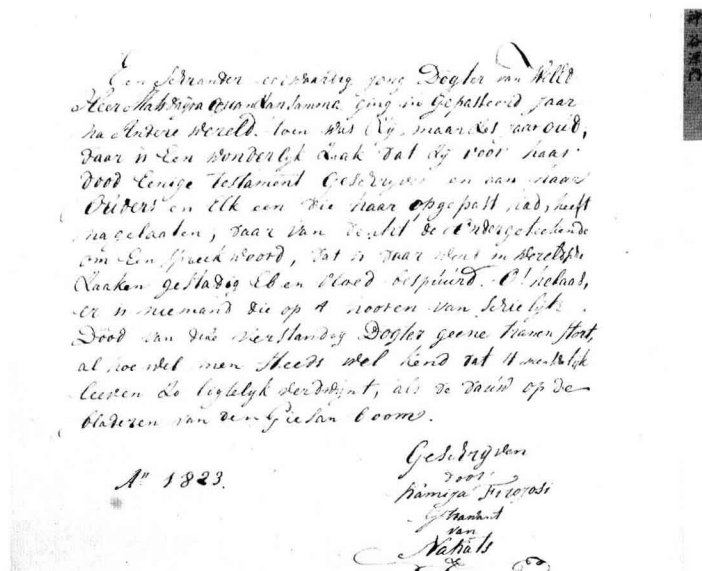
吉岡十兵衛（幸長）書（第25巻）15頁
四方田市之丞母書（第25巻）15頁
深谷平左衛門祖母書（第25巻）15頁
竹村与兵衛妻書（第25巻）15頁



高田庄次郎（与清）書（第25卷）30～31頁



右より
平等院（静音）書
（第25卷）24頁
了阿書（第25卷）24頁



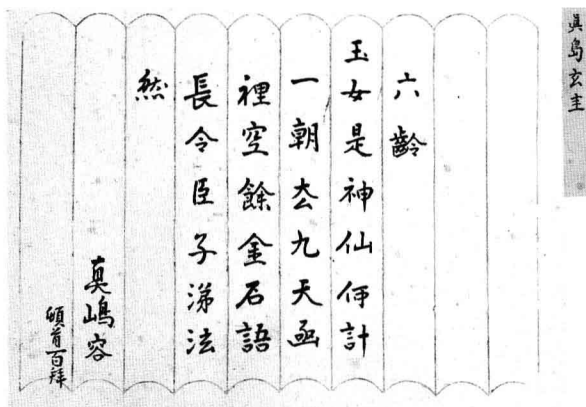
神谷源内（弘孝）書（第25卷）34頁



阿部行菴（松窓）画「山水図」
（第25卷）33頁



荒尾極人（在原惟就）画「那智滝と熊野三山図」（第27巻）63頁



真島玄主書（第26巻）43頁

右より
 芳村清三郎（藻鯉）書（第27巻）68頁
 盲人巴水書（第27巻）68頁
 扇屋兵藏（竹溪）書（第27巻）68頁



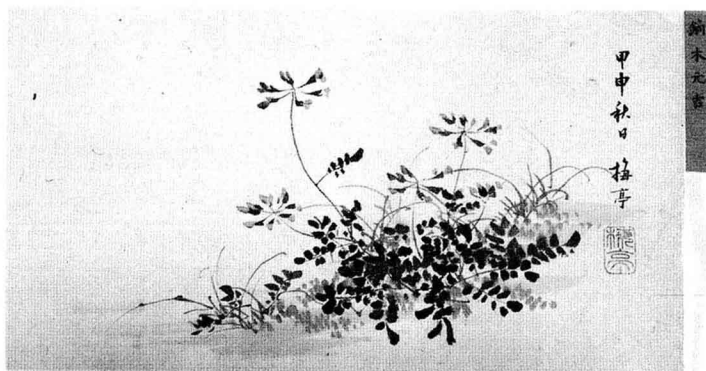
荒尾極人妹（千於女）画「砦図」（第27巻）71頁



茂呂春仙（五岳）画「小禽図」（第27巻）75頁



伊勢屋佐兵衛（春草）画「蓮図」（第27巻）73頁



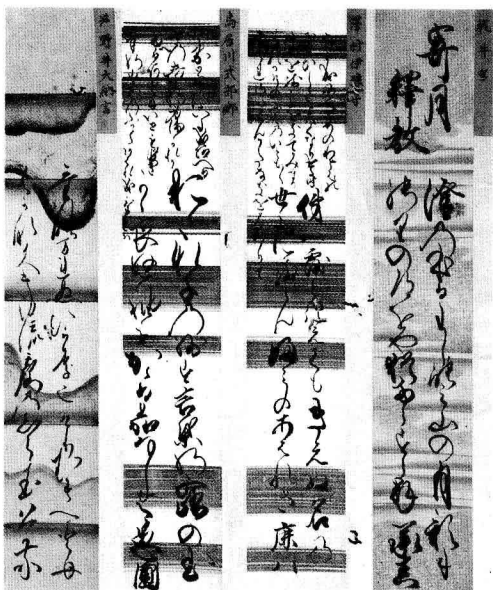
鎗木元吉（梅亭）画「紫雲英図」（第27巻）77頁



無款「虎耳草図」(第27巻) 79頁



桑原富士子(雲瓊女)画「蒲公英図」(第27巻) 79頁



右より
梶井宮(承真)書(第28巻) 87頁
沢村伊予守(鹿門)書(第28巻) 87頁
鳥居川式部卿(愚圃)書(第28巻) 87頁
慈野井大納言(公敬)書(第28巻) 87頁



立野敬真(芳山)画「菊に胡蝶図」(第28巻) 111頁



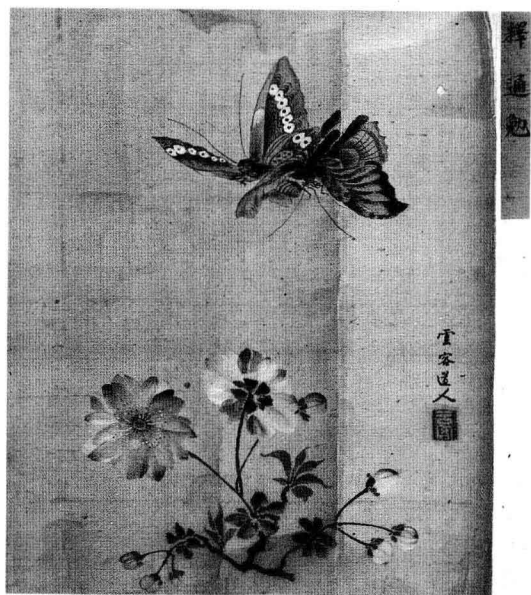
横山栄左衛門(蘭堂)画
「朝顔に蜻蛉図」(第28巻) 111頁



足立勢伊子（端淑女）画「菊に胡蝶図」
（第28巻）112頁



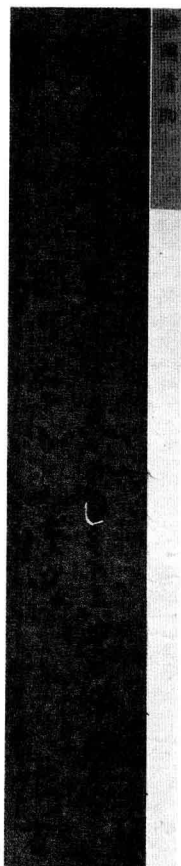
足立文治（閑斎）画「胡蝶図」（第28巻）111頁



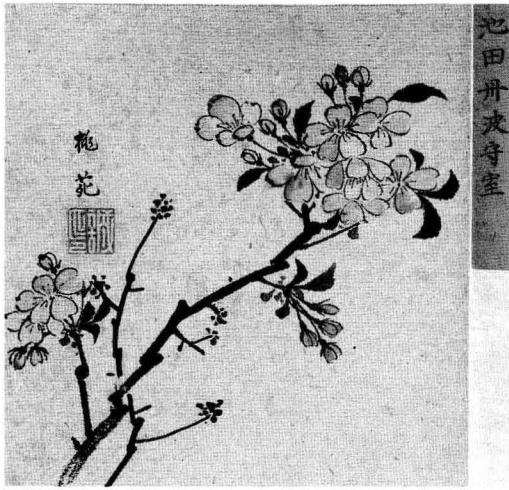
釈通勉（雲容道人）画「桜花に胡蝶図」
（第28巻）112頁



松岡次郎太郎（行義）
書（第29巻）117頁



松岡清助（辰方）書
（第29巻）117頁



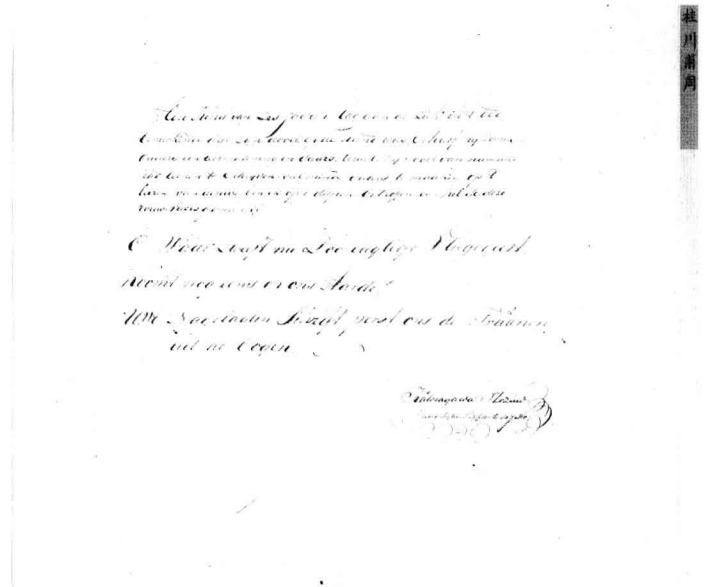
池田丹波守室（桃苑）画「桜花園」（第29巻）
118頁



平田大角（篤胤）書（第29巻）131頁
（臥鵬）書（第29巻）131頁



毛利甲斐守（元義）書（第30巻）149頁
南部伊勢入道（畔季）書（第30巻）149頁



桂川甫周書（第29巻）122頁

病間遺詠篋中藏蝶舞花飛夢

一場想為

尊親能諫酒在須老後在醒鄉

恭讀

冠山老侯今愛

玉露童女遺篇賦此奉寄

南勢東裝拜草



東文亮（東裝）書（30卷）156頁

見教りて袖へぬる人梅子花
法由る清く人老ふの葉



林大學頭（述齋）書
（第30卷）155頁

世尊體衆天地間氣之而生量以有根之源子而世動轉有佛天
權化之說彰而易散琉璃脆大都好物不堅牢（香山佛）者猶
以者權化則一聚一散結與知事云云耳 新也者多如
露散多親見其生云云 去廣親見其法攝持又親見其毀
多其抄受而不見則每一言及之未嘗不潸然泣下也
惟如 老侯為可事不若此五年矣今則天下 緇素去矣無
賊無年少男女悼 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散
集感三千卷之 老侯云云以已不 露散易散 露散易散 露散易散
夢也 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散
可別 也 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散
為形之散玻璃 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散
夢感松崎謙堂 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散 露散易散

松崎謙堂（復）書
（第30卷）159頁

目次

口 絵	1
凡 例	10
玉露童女追悼集	
第二十五卷	11
第二十六卷	35
第二十七卷	61
第二十八卷	85
第二十九卷	115
第三十卷	139
『玉露童女追悼集』出版完結感	162
想 恩 録	168
浅草寺史編集所	
人名総索引	207

凡 例

- 一、漢字は原則として常用漢字を用い、古体・異体・略体文字も現行字体に改めた。
- 一、変体仮名は平仮名に改めた。ただし、ニ・ハ・ミ・江は原本のままとした。
- 一、校訂者の注記には、すべて（ ）を付した。
- 一、当時慣用の宛字はそのままとし、明らかな誤字は傍らに正字を注記した。また脱字と思われる箇所には、（脱カ）と傍注した。
- 一、虫喰・欠損・難読の箇所は、□^{（山カ）}か「」で示した。ただし、判読可能な場合は、□^{（山カ）}または山^{（カ）}などと傍注した。
- 一、人名を記した貼札は□で示した。
- 一、漢詩・漢文は、読み下し文に改めた。
- 一、印は、印形にかかわらず、すべて印で統一した。

玉露童女追悼集

第二十五卷

東なる松平つゆ子の六とせにて
うせ玉ひしあとにのこされし四ひら
の文哥とものあやしきまてさとう
いませしにおとろきかつ涙くみて

法眼道作

何かれかきものもと世に
きうしたのせりあまういかも

東なる松平つゆ子の六とせにて
うせ玉ひしあとにのこされし四ひら
の文哥とものあやしきまてさとう
いませしにおとろきかつ涙くみて

法眼道作

何かしのほさちのものと此君そ
しハしこの世にあれましゝかも

朝夕に玉となかめし草の露

むすひもあへすきえしはかなさ

正育

姫期しあらし風をもいとひしか

つひにハ露ときえしはかなさ

信

つゆとのミ消てはかなき姫小松

千とせのたねとおふしたてしも

信美

あはれなり見えしむとせの夢さめて
のこるなみたの水くきの跡

信愛

長かれといのりし露の玉緒の
たえてはつかんよすかたになき

信充

秋田日向守

みるからにしのはしき哉濁りなく
かき残したる水くきのあと 親重

小野筑前守

たけからぬ音こそなかるれをさなこの
はかなき筆の跡をみるにも 重賢

細川武蔵

おく露のひる間を待すはかなくも
うつろひはてし朝貌のはな 常之

滝原将監

なき跡にみのりのたねを残し置て
露とちりにし撫子のはな 豊常

四方田市之丞

咲そめて春をむとせの花桜
にはひもあえす散しはかなさ 長諄

竹村与兵衛

白つゆの珠のひかりをとめ置て
またき入にしミかつきの影 尚孝

佐竹小右衛門

おきもあへす消にし露の朝鏡
面かけのミやよに残らまし 義維

大西下總守

幼なきこゝろの水のすみしより
はちすの花の露と消けむ 親寔

秋田日向守

みるからにしのはしき哉濁りなく
かき残したる水くきのあと 親重

小野筑前守

たけからぬ音こそなかるれをさなこの
はかなき筆の跡をみるにも 重賢

細川武蔵

おく露のひる間を待すはかなくも
うつろひはてし朝貌のはな 常之

滝原将監

なき跡にみのりのたねを残し置て
露とちりにし撫子のはな 豊常

四方田市之丞

咲そめて春をむとせの花桜
にはひもあえす散しはかなさ 長諄

竹村与兵衛

白つゆの珠のひかりをとめ置て
またき入にしミかつきの影 尚孝

佐竹小右衛門

おきもあへす消にし露の朝鏡
面かけのミやよに残らまし 義維

大西下總守

幼なきこゝろの水のすみしより
はちすの花の露と消けむ 親寔